

動物実験に関する検証結果報告書

(藤田保健衛生大学)

動物実験に関する相互検証プログラム

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 25 年 3 月

平成 25 年 3 月 11 日

藤田保健衛生大学
学長 黒澤 良和 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム
検証委員会 委員長



対象機関：藤田保健衛生大学
申請年月日：平成 24 年 7 月 11 日
訪問調査年月日：平成 24 年 12 月 5 日
調査員：三好 一郎（名古屋市立大学）
加藤 秀樹（浜松医科大学）

検証の総評

藤田保健衛生大学は、医学研究科と保健学研究科の大学院、医学部と医療科学部の 2 学部、および附属病院や附置研究所を擁し、全国有数の症例数を誇る東海地区において一大医療拠点をなす医科系大学である。

本学では、動物愛護法や関連法令、文部科学省基本指針、環境省基準ならびに機関内規程に則して適正に動物実験が行われている。動物実験委員会の委員として特に動物福祉に関して優れた識見を有する者を定めている点が評価できる。実験動物の飼養保管、および施設の管理体制も概ね良好で、教育訓練や自己点検・評価も基本指針に従って実施されている。実験室の数は多いが、動物実験委員会の査察により改善措置を勧告するなどしかるべき対応がなされている。ホームページを活用して提供されている動物実験の実施に必要な書類は、細部まで吟味・配慮されている。普段の啓発活動なども含め、これらは動物実験の適正な実施に対する意識の高さ、実際の取り組みを反映しているものと考えられる。

動物実験施設の管理体制が行き届き、良好な状態が維持されていると同時に改善計画も進んでいるが、施設・設備の一部には老朽化がみられることから動物実験の良好な体制を維持するために中長期的な施設・設備の維持管理計画も検討されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「藤田保健衛生大学動物実験規程」（以下、機関内規程）が定められ、その内容は文部科学省基本指針（以下、基本指針）に則したものである。申請時には、「但し一部文言を変更した方がより明確になる部分があるとの指摘があり、現在、文言の改正を検討中である」ことから「一部に改善すべき点がある」という自己点検・評価結果であったが、訪問調査時には改正されていた。よって、機関内規程について、検証の結果「基本指針に適合する機関内規程が定められている」と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

4) 改善に向けた意見

機関内規程における「動物実験研究施設」、「飼育室」および「実験室」の用語の定義をより詳細に細則や内規等に定めるよう検討されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

機関内規程では、基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められ、動物福祉に関して優れた識見を有する委員を含む 14 名の委員による委員会が実験計画の審査、実施状況および結果、施設および実験動物の飼養保管状況、教育訓練、自己点検評価や情報公開に関する事項等について審議または調査を実施する体制となっている。よって、動物実験について自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが定められ、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種申請書や報告書、様式等が定められている。これらの書類は、申請者が記入しやすいようにあらかじめ必要な項目を設定するなど細部にまで配慮されており、評価される。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「藤田保健衛生大学遺伝子組換え実験に関する学内管理体制」、「組換え動物取扱いマニュアル」、「遺伝子組換え動物移動/運搬マニュアル」、「遺伝子組換え動物飼育室利用心得」、「藤田保健

衛生大学病原体等安全管理委員会規程」、「藤田保健衛生大学感染症発生予防規程」、「感染動物取扱いマニュアル」、「感染動物室利用心得」、「SPF 動物飼育室・実験室利用心得」、「動物実験に関わる有害化学物質の取扱いマニュアル」など安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定められ、実施体制が整備されている。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設については、管理者および実験動物管理者が定められ、委員会による調査と助言を受けて学長が承認する制度となっており、基本指針や飼養保管基準に則した管理体制が整備されている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

魚類および両生類を用いた動物実験も動物実験委員会により把握されている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の調査、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。予備審査的に計画書の記入法を指導することにより審査の円滑化を図る工夫も認められる。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 予備審査に加えて、経験や能力に応じて選ばれた一部の委員による審査は効率を高めるが、審査の客観性や公正性の向上を図る観点から、細則や内規等による具体的手順や審査基準などの明文化を検討されたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の立案、審査が行われ、平成 23 年度には 151 件の動物実験計画が承認された。毎年度、動物実験責任者に自己点検・評価を義務づけていること、また、実施結果報告書の提出率は 90% 以上であり、動物実験は適正に実施されている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

遺伝子組換え実験、感染実験、有害化学物質を取扱う実験等の安全管理に注意を要する動物実験が適正に実施され、安全管理上の問題も生じていない。動物実験委員会と組換え DNA 実験安全委員会や環境保全委員会等が連携し、情報の共有化も図られている。よって、安全管理を要する動物実験について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

2つの動物実験研究施設およびそれ以外の1飼育室では、実験動物の飼養保管に関連する各種の指針、およびマニュアル、利用心得が整備され、それに沿って適正に飼養保管が実施されている。実験動物の飼育管理は実験実施者が携わっているため、実験動物保管管理簿や飼育作業報告書の提出が義務づけられ、管理者や実験動物管理者が飼養保管状況を把握するとともに適切な助言を与えている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会が施設等の調査、改善点の指摘を行い、それに従って施設や設備の補修等が進められている。疾患モデル教育研究センターは、経年劣化に伴い計画的改修工事が施されており、きわめて清潔に維持管理されている。また、動物実験研究施設以外の 1 飼育室は整備されて新しい。しかしながら、七栗疾患モデル研究室は遺伝子組換え動物の飼養保管に対応できないことから改修工事等の措置が必要である。よって、施設等の維持管理の状況について、一部に改善すべき点があるとした自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
予定されている改善計画に基づいて、七栗疾患モデル研究室の改修整備を進められたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験実施者の教育訓練を義務化しており、平成 23 年度に実施した教育訓練受講者は 29 名であった。教育訓練の実施記録や受講者の記録等が整理されており、基本指針に則した教育訓練

が実施されている。学生対象の講義、あるいは実技講習（適宜）のほか、疾患モデル教育研究センター内には教育・啓発用のポスター、ホームページによる留学生用の情報提供なども精力的に実施されている。よって、教育訓練について、自己点検・評価の結果は妥当と判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

平成 22 年度から毎年自己点検・評価を開始しており、すでにホームページにて情報公開を実施している。機関内規程等の書類、および実験動物の飼養および保管の状況等もホームページや紀要等で公表されている。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

公開情報をサイトにまとめるなど、一層閲覧しやすいホームページにするよう検討されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

適正な動物実験の実施を全学的に推進することを目的として、疾患モデル教育研究センターのホームページが非常に活用され、多くの情報が発信されている。本学の情報公開に対する意識の高さの表れであり、高く評価される。

